

十和田市立中央病院

TOWADA CITY HOSPITAL

■臨床研修医募集要項

【令和5年度採用版】

当院の理念

「いのちをみまもり、いのちをささえ、
いのちをつなぐ」医療の実践

基本方針

- 1) 生活に寄り添う視点で効率の良い医療を行う（急性期医療の展開）
- 2) 思いやりや温かみのある医療を行う（緩和医療・在宅医療の展開）
- 3) がんや生活習慣病などの早期発見・予防に取り組む（健診・疾病予防の推進）
- 4) 病院が提供する医療の質の向上を図り、常にその改善に努める
 {医療の質指標（Quality indicator:QI）提示の推進}
- 5) 誰もが理解でき納得できる医療を行う（情報開示と合意に基づく医療の展開）
- 6) 病院の理念に賛同する医療介護福祉の従事者を育てる（人材の育成）
- 7) 病院で働く人が誇りを持って快適に働ける環境を整備する（職場環境の整備）
- 8) 病院運営および経営の透明化を図る（病院経営の健全化）

■病院の概要 救急・手術の実績

病院の概要

- 病床数 369床（一般315床、精神50床、感染4床）
- 医師数 52名（総職員数：580名 ※R4.4.1現在）
- 外来患者数 143,272件/年（592.0件/日） ※R3年度
- 入院患者数 87,742件/年（240.4件/日） ※R3年度
- 入院在院日数 14.5日（一般13.1日/精神50.3日） ※R3年度

救急医療実績（※R3年度）

- 救急患者数： 4,527件/年（うち診療時間外：4,043件/年）
- 救急患者数： 12.4件/日（うち診療時間外：11.1件/日）
- 救急車搬送患者数： 2,242件/年（うち診療時間外：1,424件/年）
- 心肺停止状態搬送患者数： 86件/年

手術実績（※R3年度 手術室）

- 外科 805件（うち全麻446件）
- 整形外科 863件（うち全麻214件）
- 脳神経外科 206件（うち全麻45件）
- 泌尿器科 327件（うち全麻75件）
- 皮膚科 113件（うち全麻0件）
- 産婦人科 173件（うち全麻93件）
- 耳鼻咽喉科 16件（うち全麻2件）

R3年度計 3,594件（うち全麻877件）



◎ **院長あいさつ** 当院は、人口約17万人を抱える青森県東部・上十三地域の2次医療圏を支える中核病院です。上十三地域は西に十和田湖や奥入瀬溪流、八甲田山系を有する十和田市を中心に、東にはアメリカの香り漂う三沢市と六戸町が隣接し、北には陸奥湾と太平洋を遮る下北半島の付け根を担う野辺地町・横浜町・六ヶ所村、小川原湖を持つ東北町、歴史とスキーの七戸町など、各々個性的な自治体が連なり、歴史を繋いできました。昔からの面影を残して、大自然と触れ合いながら、人々がゆったりとした流れの中で暮らしを営んでいます。

当院の理念は、命を見守り、命を支え、命をつなぐ医療の実践です。地域の住民の皆様が安心して暮らし、生きることができる地域社会を構築するために、医療、福祉、介護、行政と地元の住民の連携のもと、外傷や内因性疾患を含む2次救急までの急性期医療に重点を置き、各種のがんや精神疾患をはじめ、在宅訪問診療にも積極的に取り組んでいます。

当院の初期研修は、研修医の定員が6名と比較的少ないため、各診療科の指導医と良好な師弟関係を早くから築くことができます。その人間関係を起点にして、EBMに準じた治療法、カテーテル挿入や穿刺、内視鏡、比較的簡単な手術手技などを早期に経験し、身に付けることができます。院内発表や学会発表にも力を入れており、同時に、多職種が関わるチーム医療や医師としてのプロフェッショナリズムについても研修します。学生の皆さん、素晴らしい大自然に囲まれた環境で、熱意ある当院のスタッフとともに働きませんか？ 実りある研修医生活が、皆さんを待っています。(院長 高橋 道長)

募集要項

- 【募集人数】 6名
- 【応募資格】 マッチングを希望する年度の医師国家試験受験予定の方、または既に医師免許取得済みで初期研修未実施の方
- 【応募書類】 1. 当院指定の申込書 2. 当院指定の履歴書 3. 卒業(見込)証明書 4. 成績証明書
※当院指定の応募書類はホームページからダウンロード可能です。
- 【応募期間】 令和4年8月12日(金)まで【必着】
- 【選考方法】 面接・書類選考 面接日: 令和4年8月19日(金)、9月2日(金)
(日程の詳細についてはホームページでお知らせします。都合が合わない場合は調整させていただきますので、ご相談ください。)
- 【選考結果】 医師臨床研修マッチング協議会オンラインで確認

身分及び処遇

- 【身分】 会計年度任用職員
- 【報酬】 1年目: 月額 541,380円(税込・諸費用天引前)
2年目: 月額 555,380円(税込・諸費用天引前)
※その他、日当直手当、時間外勤務手当、期末手当支給あり。
- 【勤務時間】 月曜日～金曜日の8:30～17:00
※土・日・祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は休診日
- 【休暇等】 年次有給休暇: 1年次: 年12日、2年次: 年13日 夏季休暇: 4日
特別休暇(出産/産前・産後、ボランティア、服忌等)、育児休業、介護休暇
- 【福利厚生】 社会保険、厚生年金保険、労働者災害補償保険、雇用保険、病院賠償責任保険の病院加入あり※個人加入は任意
- 【公舎】 単身用・世帯用あり 入居料月: 約13,000円程度
※駐車場あり、病院まで徒歩5～15分
- 【病院内での環境】 個人ブース設置、医局内オープンスペース
- 【日当直等】 研修医は単独で日当直を行わず、担当日当直指導医のもとで診察を行い、トリアージを含め救急診察を研修
※月4～5回程度 ※女性専用当直室あり ※緊急時の呼出あり、患者の転院搬送あり ※日当直手当支給
- 【研修・講習会等】 研修費: 年30万円を上限に支給。
※講演会、セミナー等への旅費に使用できます。 ※教科書、教育用DVD等の購入にも使用できます。
- 【医学図書関係】 和雑誌、洋雑誌、和書、洋書各種、Up to date、メディカルオンライン、JdreamⅢ、医中誌Web

○病院見学のご案内(※交通費支給)

随時受け付けています。ホームページより、病院見学申込書をダウンロードし、記入の上、メール添付にてお申込みください。
見学時は、診療科の医師と同行して当院の医師の動きを体感していただくことができます。
※院内に宿泊施設(無料)、コインシャワー、レストラン、コンビニ等あります。
※受付、見学ともに休診日(土日祝日、年末年始除く。)

5年次の6月以降に病院見学をされた場合、当院規定額の交通費(上限4万円)を支給します。

■ 臨床研修の理念

「予防医学から急性期医療を中心とした一般診療そして在宅医療を含めた終末期医療までを経験し、患者さんの生活に寄り添う視点で、プライマリ・ケアを身につける。」

■ 臨床研修プログラムについて

プログラムの特徴

二次医療圏の中核病院として豊富な症例を経験でき、プライマリ・ケア、専門的医療、救急医療、精神医療、緩和ケアを含めた包括的がん医療について研修します。2年間で計36週の実習期間があり、比較的自由度の高いローテーションプログラムを作成することが可能です。また、1年目同士が同一診療科をローテーションしないよう配慮しており、1人あたりの症例や手技が一定数以上確保できるようにしています。各診療科におきましては、指導医、上級医、後期研修医が将来志望診療科へ進むためのアドバイスなども診療を通して行っています。

【 1年次 (例) 】

1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週
内科 (24週)						救急・麻酔科 (8週)		外科 (8週)	

【 2年次 (例) 】

1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
地域保健 (4週)	地域医療 (4週)	メンタルヘルズ科 (8週)		産婦人科 (8週)		選択科 (28週)						

必修科	選択科 (それぞれ4週以上選択)
内科 (24週)、麻酔科 (8週)、外科 (8週)、メンタルヘルズ科 (8週)、小児科 (4週)、産婦人科 (8週)、地域医療 (4週)、地域保健 (4週)	消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、総合内科、外科、脳神経外科、整形外科、メンタルヘルズ科、泌尿器科、小児科、産婦人科、婦人科、耳鼻咽喉科、麻酔科、病理

※内科・麻酔科・外科を1年次、地域医療・地域保健を2年次に実施し、その他の科目については希望に応じローテーションを作成します。

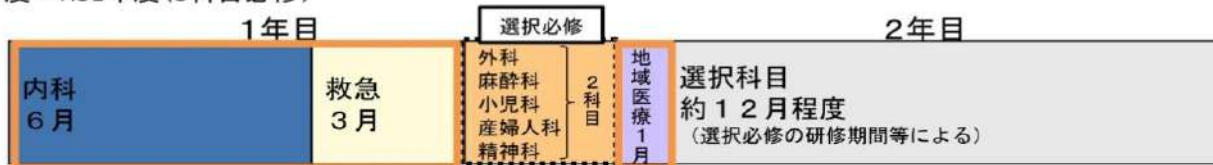
- ①地域医療では、小嶋外科医院 (1日)、日高徳洲会病院または五戸総合病院 (4週間)、地域保健では、介護老人保健施設みのり苑 (1日)、上十三保健所 (1週間)、残りの期間は総合内科で在宅医療等を研修します。
- ②産婦人科は、当院に加え、青森県立中央病院、五戸総合病院、国立病院機構弘前病院、三沢市立三沢病院で、指導医等の状況によりいずれかで行うこととなります。
- ③内科の必修期間 (24週) は消化器内科、総合内科、循環器内科を8週ずつローテーションします。
- ④麻酔科8週のうち4週を救急研修とみなし、救急研修の残り8週は日当直により充当します。
- ⑤麻酔科は、希望により弘前大学医学部附属病院での研修が可能です。
- ⑥病理は、東北大学病院で行うこととなります。

○ 2020年4月1日に開始する臨床研修より、以下のとおり変更

<医道審議会医師分科会医師臨床研修部会報告書より抜粋>

必修診療科の見直し(イメージ)

H22年度～H31年度(3科目必修)



H32年度～(7科目必修)(案)



※一般外来4週以上を含む(8週以上が望ましい)

指導体制について

指導医、上級医、メディカルスタッフが研修をサポートしています。ローテーション中は1年目の研修医が1診療科に1名までとしているため、指導もマンツーマンで行われます。診療科によっては、1名の研修医に指導医が複数名という環境もあります。当直時も各診療科で待機医がいるため、オンコールによるサポートもあります。

勉強会について※症例検討会等

研修医による症例発表、勉強会、CPC、医療チームごとのカンファレンス、専門診療科における講演会等多数実施しております。その他、院外での勉強会や講習会への旅費と参加費の助成もあります。

■実践で学び育ち、実践で一人前となる

当院では、働く毎日が実践となります。研修医としてだけではなく医師として、現実の地域医療で多くを学び、多くの人と関わりながら成長し、多くの経験を重ねて一人前になる機会が豊富にあります。ともに学び、ともに成長し、ともにプロとして働く仲間を求めています。お待ちしております。

●研修医の出身大学（過去5年間）

弘前大学、千葉大学、川崎医科大学、日本医科大学ほか。

■生活する人の視点に立った医療の展開

◎チーム医療

医療の質を高めるためにチーム体制の充実が必要不可欠であるという認識のもと、病院長直属で院内の専門職（医師、メディカルスタッフ等）がチームを編成しています。

現在、緩和ケア、褥瘡対策、栄養サポート、感染制御、医療安全対策、糖尿病ケア、口腔ケア、嚥下ケア、呼吸ケアの9つのチームが、病院内で組織横断的活動を行っており、カンファレンスや病棟回診、勉強会などを行っています。

◎地域医療連携

上十三地域の病院や診療所と連携し、患者の紹介を円滑に受け、専門外来の受診が不要となった患者がそれぞれの地域で引き続き適切な医療を受けられるよう、支援を行っております。医師・看護師による訪問診療・訪問看護の実施、がん患者と家族を対象とした緩和ケアの提供、健康相談や健診業務、糖尿病の会の運営等をおこなっています。

◎包括的がん治療

令和2年3月27日付けで“地域がん診療病院”に指定されました。

“包括的がん医療”提供体制の構築のため、緩和ケア、外科的治療、がん化学療法、放射線治療それぞれの分野の充実を図るとともに、がん医療におけるチーム医療体制を確立し、全人的かつ集学的な医療を提供しています。また二次医療圏では唯一、青森県内でも数少ない急性期精神医療を展開しています。

◎救急医療体制

上十三圏域における中核病院として二次救急医療を提供するとともに、休日夜間の救急患者については、他医療機関と役割分担・機能連携を図りながら初期救急患者を受け入れています。また、小児救急医療体制や、災害拠点病院としての災害時救急医療及び感染症指定病院としての入院診療や患者搬送体制等の医療体制の充実を図っています。

十和田市立中央病院

〒034-0093 青森県十和田市西十二番町14番8号 臨床研修管理部 村上 雄哉
TEL: 0176-23-5121 (内線 2350) FAX: 0176-23-2999
E-mail: yuya_murakamii@city.towada.lg.jp
病院HP: <http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/>

